

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月20日

計画の名称	蒲郡市における水の防災・安全基盤整備計画（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	蒲郡市											
計画の目標	施設の改築・耐震化を行い、災害時に備え、市民の安全・安心、快適な暮らしを実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,466	A	1,466	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	処理場改築更新進捗率を0.0%（H27末）から23.4%（H31）に増加させる。 処理場において、H28年度から今後10年間（H37年度まで）に改築・更新を必要とする施設数に対する改築・更新実施数の割合 処理場改築更新進捗率（%）= H28年度以降の改築・更新実施数（箇所）÷ H28年度～H37年度までに改築・更新が必要な施設数（箇所）× 100	0%	9%	23%
2	ポンプ場改築更新進捗率を0.0%（H27末）から6.3%（H31）に増加させる。 ポンプ場において、H28年度から今後10年間（H37年度まで）に改築・更新を必要とする施設数に対する改築・更新実施数の割合 ポンプ場改築更新進捗率（%）= H28年度以降の改築・更新実施数（箇所）÷ H28年度～H37年度までに改築・更新が必要な施設数（箇所）× 100	0%	6%	6%
3	処理場・ポンプ場耐震化進捗率を7.1%（H27末）から38.1%（H31）に増加させる。 処理場・ポンプ場において、耐震化を必要とする施設数に対する耐震化実施数の割合 処理場・ポンプ場耐震化進捗率（%）= H28年度以降の耐震化実施数（箇所）÷ 耐震化が必要な施設数（箇所）× 100	7%	21%	38%
4	雨水排水施設整備率を59.7%（H27末）から59.8%（H31）に増加させる。 雨水排水施設において、整備を必要とする面積に対する整備済の割合 雨水排水施設整備率（%）= 雨水排水施設整備面積（ha）÷ 下水道法による事業計画区域面積（ha）× 100	60%	60%	60%
5	管渠改築率を0.0%（H27末）から100.0%（H31）に増加させる。 スtockマネジメント計画において、個別施設の改築計画を必要とする管渠延長に対する改築実施数の割合 管渠施設改築率（%）= H28年度以降の改築実施延長（m）÷ 個別施設の改築必要延長（m）× 100	0%	0%	100%
6	処理場・ポンプ場の計画策定率を0.0%（H27末）から20.0%（H31）に増加させる。 処理場・ポンプ場において、目標耐用年数を超過する施設数に対する計画策定の割合 処理場・ポンプ場の計画策定率（%）= 処理場・ポンプ場の計画策定した施設数（箇所）÷ 目標耐用年数を超過した施設数（箇所）× 100	0%	0%	20%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	終末処理場	改築	浄化センター改築(長寿命化)	水・汚泥処理機械・配管設備更新等	蒲郡市						420		策定済	
		長寿命化																		
	A07-002	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	終末処理場	改築	浄化センター改築(地震対策)	水・汚泥処理施設耐震化	蒲郡市						358		-	
		長寿命化																		
	A07-003	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	ポンプ場	改築	城山ポンプ場改築(長寿命化)	機械・電気設備更新等	蒲郡市						47		策定済	
		長寿命化																		
	A07-004	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	ポンプ場	改築	城山ポンプ場改築(地震対策)	ポンプ場耐震化	蒲郡市						70		-	
		長寿命化																		
	A07-005	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠(雨水)	新設	雨水幹線築造工事(硯川排水区)(浸水対策)	雨水管 1200×1300外 L=257m	蒲郡市						207		-	
		長寿命化																		
	A07-006	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠(汚水)	改築	管渠改築(ストックマネジメント)	管更生 1500 L=260m	蒲郡市						249		策定済	
		ストックマネジメント																		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
蒲郡市上下水道部下水道課にて実施	令和3年度
	公表の方法
	市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>処理場改築更新により、施設の安定的な稼働環境の確保をすることができた。</p> <p>ポンプ場改築更新により、施設の安定的な稼働環境の確保をすることができた。</p> <p>耐震化工事により、災害時における機能確保をすることができた。</p> <p>雨水施設整備により、当該排水区における浸水被害の軽減に寄与することができた。</p> <p>管渠改築工事により、対象とする管渠施設の安定的な流下能力を確保することができた。</p> <p>処理場・ポンプ場におけるストックマネジメント計画を策定したことにより、施設の計画的な改築・更新事業を行うことが可能となった。</p> <p>処理場ユニット設備改築更新により、施設の安定的な稼働環境の確保をすることができた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後はストックマネジメント計画等に基づき、施設調査を進めるとともに改築・耐震化を行うことにより、災害時に備え、市民の安全・安心、快適な暮らしを実現する。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	処理場において、今後10年間に改築・更新を必要とする施設数に対する改築・更新実施数の割合	
	最終目標値	23%
	最終実績値	23%
2	ポンプ場において、今後10年間に改築・更新を必要とする施設数に対する改築・更新実施数の割合	
	最終目標値	6%
	最終実績値	3%
3	処理場・ポンプ場において、耐震化を必要とする施設数に対する耐震化実施数の割合	
	最終目標値	38%
	最終実績値	46%
4	雨水排水施設において、整備と必要とする面積に対する整備済の割合	
	最終目標値	60%
	最終実績値	60%
5	ストックマネジメント計画において、個別施設の改築計画を必要とする管渠延長に対する改築実施数の割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	処理場・ポンプ場において、目標耐用年数を超過する施設数に対する計画策定の割合	
	最終目標値	20%
	最終実績値	20%
7	ストックマネジメント計画において、ユニット施設の改築計画を必要とする施設数に対する改築実施数の割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面)

計画の名称	蒲郡市における水の防災・安全基盤整備計画		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度 (4年間)	交付対象	蒲郡市

污水計画図



A07-001 浄化センター改築 (長寿命化)
 A07-002 浄化センター改築 (地震対策)
 A07-007 浄化センター・ポンプ場計画策定
 (ストックマネジメント)
 A07-008 浄化センター改築 (ストックマネジメント)

A07-006 管渠改築 (ストックマネジメント)

A07-004 城山ポンプ場改築 (地震対策)

単独公共下水道
 蒲郡処理区

豊川流域関連公共下水道
 大塚処理分区

凡 例	
	全体計画区域
	下水道法による事業計画区域
	処理場
	ポンプ場
	幹線
	幹線整備
	支線整備

(参考図面)

